



ML連携企画 セミナー①「北村けんじの児童文学観」
セミナー②「秋の夜長の物語—中世の逸話—」

博物館企画展に合わせて、博物館職員によるセミナーと関連書籍の紹介展示を行います。

※ML連携企画とは、博物館(Museum)と図書館(Library)が連携して行う企画です。

- とき ①9/17(土) ②10/1(土) 13:30~15:00
場所 くわなメディアライヴ
定員 各50人(先着順)
申込 直接または、電話で中央図書館へ
開始 ①9/10(土) ②9/22(木) いずれも10:30~17:00
問 中央図書館

本を傷や汚れから守る

ブックコート講習会

自宅の本を図書館の本のように透明フィルムでコーティングします。

- とき 9/25(日) 14:00~15:00
場所 中央図書館
対象 中学生以上 料金 300円(材料費)
定員 10人(応募者多数の場合抽選)
申込 直接または、電話で中央図書館へ
期間 9/9(金) 10:30~16(金) 17:00
※1人2冊(本のサイズはA4サイズまで)
問 中央図書館

図書館スタッフによる 今月のおすすめ本

今月のテーマ 「防災」

大人向け



被災ママに学ぶ いざという時の防災アイデア40 アベナオミ/著 (学研プラス)

東日本大震災での被災経験をイラストで紹介。著者自身の経験から得た「続けられる」防災のアイデアが詰まった一冊です。

児童向け



親子でかんがえよう! 防災クイズずかん 桶田 ゆかり/監修 (チャイルド本社)

近年頻発するさまざまな自然災害の際、どうすれば自分や家族を守れるか、何を備えておけばよいのか、クイズや絵探しで学べます。



スマホで防災 宮下 由多加/著 (ジャムハウス)

被災時の情報収集や、家族の安否確認方法など。従来の防災対策に加えたい、スマホを活用したテクニックが紹介されています。



津波!! 命を救った稲むらの火 小泉 八雲/原作 高村 忠範/文・絵 (汐文社)

実在した浜口梧陵をモデルに、安政の南海地震と後に襲った津波からどのように村人を救ったか、彼の功績が分かる物語です。

六華苑 十六夜落語公演2022



今年は「和洋折衷」をテーマにした落語の公演を行います。三重県ゆかりの落語家や国内外で活躍する落語家が出演します。

※出演者やチケットの販売開始時期は決まり次第、六華苑のホームページにてお知らせします。
※このイベントは「日本博」の主催・共催プロジェクトに採択されています。

- とき 10/16(日) 18:30(開場18:00)
料金 2,500円(入苑料込み) 定員 50席

秋、ものや想ふ



秋と言えば月、月を見てもの想う頃、中世もののふの物語を添えて、秋の移ろいを展示します。

【特集陳列】

北村けんじ-ぼくがサムライになった日-/刀剣セレクションIII

(左)田淵俊夫(いつか来た道)個人蔵

- とき 9/10(土)~10/10(祝) 9:30~17:00(入館は16:30まで)
料金 高校生以上150円、中学生以下無料

子育て広場

子育てに関するコラムや役立つ情報をお届けします。子育て応援アプリでも地域での情報を発信しています!



アプリは「母子モ」で検索!

コラム 0歳児のお母さんへ



保健師

助産師などが家庭を訪問して、相談や指導が受けられる産後ケアを存じますか。市では市内在住の産後1年未満の赤ちゃんとお母さんに対して産後ケアを行っています。
私自身も、自問自答しながら手探りで毎日過ごしていました。余裕がなく、子どもがうまく育っているのか心配で、不安や孤独を感じることもありました。そんなある日、見ず知らずの先輩ママが「頑張ってるね。自分も同じだった。いつか懐かしくなる日が来る」と声をかけてくれ、励まされた経験があります。
子どもを育てる時に、見守り、励ましてくれ、相談でき、一緒に喜び、ほめてくれる存在は、日々子どもと向き合っている人にとって、とても貴重で大きな「力」になります。
安心して育児をするために誰かに頼って良いのです。ほめてもらってください。相談してください。一人で抱え込まないために、「産後ケア」もぜひご利用ください。

支援 市の多胎児支援を 紹介します

双子や三つ子の子育ては、一度に2人以上の同年齢のお子さんの育児をする環境となるため、妊婦さんや家族も想像がつきにくく、出産育児を心待ちにする反面、不安を感じる人も少なくありません。
市では多胎児の妊娠、育児を応援するため、母子健康手帳をお渡しする際に「ふたご手帖」(冊子)をお渡しして妊娠中の注意点や産後1年までの育児についてお伝えしています。
そのほか、多胎児育児を経験された先輩ママから妊娠と育児について教えてもらう「多胎ピアサポート事業」も実施するほか、妊婦健診の助成回数を増やしています。
また、この秋から育児・生活面でも支援をするため、多胎児を妊娠している妊婦さん(妊娠32週以降)から3歳までのお子さんがある世帯を対象に「多胎児ヘルパーサービス事業」を始めます。詳しくは、後日ホームページなどでお知らせします。



すくすく離乳食教室 ①初期・中期②後期・完了期

成長時期に応じた離乳食に関する講話など

- とき ①10/4(火)13:30~15:00 ②10/3(月)13:30~14:30
場所 くわなメディアライヴ
定員 20人(先着順)
申込 下記QRコード
期間 9/15(木)~26(月)



問 子ども総合センター ☎ 24-1380 FAX 24-5497

育児相談

保健師や管理栄養士への乳幼児に関する相談

- とき 10/21(金) 10:00~11:00
場所 くわなメディアライヴ
定員 30人
申込 下記QRコード
期間 9/15(木)~10/14(金)



Q&A 災害時に子どもを守るために何が必要ですか? 非常グッズや生活必需品の備えが必要です。

命を守るために必要な物のほか、母子健康手帳のコピー、お子さんの着替え(1サイズ大きめ)、使い慣れたおもちゃや食べ慣れているお菓子なども備えてみてください。お子さんの成長によっても必要な防災グッズは異なります。6カ月に1回は見直してみましよう。

無料相談

Table with columns: 名称, とき, 詳細. Rows include 家庭児童相談, ことばの相談, 発達検査を伴う相談, 子ども電話相談, くわっば教育相談.